

これからの時期は暴風雪に万全の備えを！

【総務課総務G】

例年、屋根の雪下ろし中の転倒、暴風雪による交通障害が多数発生しています。

自分は大丈夫と思われがちですが、冬期間の気象状況は、特に変化が著しく、出かけるときは大丈夫でも、外出先では暴風雪による視界不良など、「あわや」と思われた方も多いと思います。

冬本番を迎え、常に「正しい知識と心構え」を持つことで、「雪害」に対する意識を高め、慌てずに冷静な判断に努めましょう！

❖ 日常から暴風雪に備える ❖

～家の中で安全に過ごすために～

- 気象情報に注意して、暴風雪が予想されている時は外出を避けましょう。
- 停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブや灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。
- FF式暖房機などを使用している場合は、吸排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう。



～やむを得ず車で外出する時には～

天気急変などにより車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ、けん引ロープなどを車に用意するとともに、十分に燃料があることを確認しましょう。



❖ もしも暴風雪に遭遇してしまったら ❖

～車内で救助を待つ時～

- 原則エンジン停止
一酸化炭素中毒の危険をなくすためにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。
- 一酸化炭素中毒の危険性
車が雪に埋もれたときにエンジンをかけ続けると、排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さがあるほど危険です。
- エンジンをかける時は
暖房などでやむを得ずエンジンをかけるときは、排気管出口を確実に開放し、追加の降雪や吹きだまりによる再埋没に注意しましょう。
- 窓を開けても安全とは言えません
風向きや窓の開け方などの条件によっては、窓を閉めている時より一酸化炭素中毒の危険性が高くなる場合があります。



～歩行中や屋外で作業中の時～

- 視界不良（ホワイトアウト）により方向感覚がなくなり、自分の位置がわからなくなることがあります。
- 近くのコンビニエンスストアや人家など、建物の中の安全な場所へ避難。
 - 肌の露出を少なくし、体温の低下を防ぐ。
 - 歩行中は飛散物に注意。



～気象情報等はホームページでも確認できます～

気象情報（気象庁）
<http://www.jma.go.jp/>
道路情報総合案内（北の道ナビ）
<http://northern-road.jp/navi/>
通行止情報（北海道地区道路情報）
<http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/>
防災情報（北海道防災情報）
<http://www.bousai-hokkaido.jp/>